

## 令和6年度第2回青森県立郷土館協議会について（会議概要）

令和6年度第2回青森県立郷土館協議会が開催されましたので、その内容をお知らせします。

### 1 日 時

令和7年2月21日（金） 13時30分～15時00分

### 2 場 所

青森県立郷土館 小ホール

### 3 案 件

- (1) 令和6年度事業実施状況及び利用状況について
- (2) 令和7年度事業実施計画案について
- (3) 博物館評価について

### 4 委員からの主な意見

- 缶詰展について、おもしろい展示だと思った。ポスターも良かったし、視点も変わっていた。会場のスペースに合わせたのか、もう少し掘り下げて欲しかったと個人的に感じた。広い場所で、県内を巡回して開催しても人が来るのではないか。もう少し内容を掘り下げて、歴史などにも深く触れられれば、さらに良いと思う。
- あおもり街かど探偵団について、とても良い内容なので、子どもや学生を対象に、青森市だけではなく他の市町村にも広げられると、自分の住んでいるところに関心を持つ子どもが増えるのではないか。親子での参加など、家族や学校の中でも話が広がるようなものにも発展できるのではないか。
- 情報発信について、郷土館のホームページを見たところ、SNSやYouTube、ショート動画などは時々アップされてるのに Google の検索画面に出てくる情報が止まってもったいない。Google がホームページやSNSへの入り口となるので、情報を更新していくことで、もっとホームページ等を見てもらえるようになると思う。可能であれば、Google にも YouTube 動画をアップしたことなどが分かるようになる、さらに良いのではないか。
- 出前授業について、テーマの中の「古い道具と昔の暮らし」が人気ということだが、小学校では3年生の、ちょうど今、冬休み明けの1月末から3月にかけての教材となる。県南の学校では、八戸市博物館でも同じような体験活動を実施しているため、郷土館よりも近場でというところがある。出前授業を依頼しているのが、今年度の実績では上北と東青、西北となっており、他地域からの利用を増やすためにはPRがもっと必要になると思う。

- 移動博物館について、資料を見ると依頼に応じて、とあるが、依頼がなければやらないというスタンスなのか。今、郷土館が利用できない状況でやれることは何でもやったらいいと思う。
- 館外での活動について、博物館の人的リソースは限られていると思うので、相手方が博物館から資料を借りて授業を行うといった、郷土学習などではそういうニーズもあると思う。郷土館は、多くの魅力的な資料を持っていると思うが、全て学芸員が行うのはマンパワー的に厳しいだろう。博物館を閉じているという状況でもあるので、自動的に使ってもらえる、相手の文脈の中で使ってもらえるような工夫があってもいいのではないか。郷土館には、子ども向けの体験ルームがあったと思うが、ここにあるものは、資料的には少し壊れてもいいものだと思う。ああいうものを見繕い、セットを作ってもいいのではないか。
- 青森県博物館等協議会について、県内の博物館と密に連絡をとり、連携を図るという活動を増進していくための組織ということだが、博物館大会では、47ある構成館等のうち20しか参加しておらず、なぜこれほどに少ないのか、横の連携とは、どういうことをしてるのかなど、疑問に感じた。より多くの博物館等に参加してもらって、連携、横のつながりをもっと強めて盛り上げてほしいと思った。また、そこに一般の人が5名参加しているとのこと、一般が参加できるならもっと広報して参加してもらえればいいのではないか。
- 青森県博物館等協議会の枠組みを活用して、連携して郷土館が休館でも他の施設の学芸員と一緒に何かできないものか、他の博物館の場所や学芸員を使って、郷土館からも担当者が1人か2人行ってできること、持って行けるもの、持ってきてもらえるもの、県内一円の資料をどこかでまとめて一つに展示するなど、できることがあるのではないか。
- 自然環境分野には、世界的な生物多様性の保全活動として「サーティ・バイ・サーティ」という動きがある。2030年までに陸地の30%、水域の30%を保全する区域を作ろうという活動だが、今、日本全体では10数%しか候補地がなく、青森県では1箇所しかない。あおもり創造学の中で、大勢いる高校生の活動として行えるといいと思うのだが、先日あったあおもり創造学の発表会では、多くのテーマがある中で、残念ながら自然環境のテーマが極端に少ない。こんなに豊かな自然環境があるのに実際に自然環境を主眼に置いた発表は、40数校のうち2校しかなかった。ぜひ、郷土館からも積極的にアプローチしていただきたい。
- 昆虫食などを取り上げる予定はないのか。去年、新聞に岩手県立博物館が取り組んだ昆虫食の調査研究について記事が載った。岩手県と秋田県には事例があるのに青森県はゼロだったが、私が小さい頃、普通に食べていたので、青森県にもあるのではないかと

思っている。先ほどの生物多様性ではないが、地球温暖化対策でもあるので、ぜひ昆虫食を取り上げていただきたい。

- 出前授業のメニューなどについて、具体例が多くあったほうが学校も取り入れやすいと思うので、検討いただきたい。
- 八戸市博物館も改修に向けて検討委員会を設置して検討を進めているところ。今回、県立郷土館について、整備方法を改めて検討することとなったこと、そのために文化財保護課において新たに検討委員会が作られることとなったことについて、期待している。